

調査結果の概要

1 総人口

(1)人口の推移

平成 17 年 10 月 1 日現在の本市の人口は、142,384 人(男:67,676 人、女:74,708 人)で、山形県総人口(1,216,181 人)の 11.7%を占めている。

一方、市域面積は同日施行の市町村合併により 1,311.49k m²となり、県域面積(9,323.39k m²)の約 14%を占める。これにより、本市の 1k m²あたりの人口密度は、108.6 人となり県全体の 130.4 人、県内市部の 218.2 人より低くなっている。

第一回の国勢調査が行われた大正 9 年からの人口の推移をみてみると、大正 9 年の人口(平成 17 年 10 月 1 日現在の市域における人口)は、126,228 人で以後昭和 30 年まで増加を続けている。特に第二次世界大戦のため 2 年遅れて調査が実施された昭和 22 年は、終戦などの影響により前回の昭和 15 年より 18.3%増加している。ピークは昭和 30 年で、177,859 人となっており、以後昭和 50 年から昭和 55 年の増加を除き、平成 17 年まで一貫して減少している。

地域別の人口推移をみてみると、昭和 30 年を 100 とした場合の平成 17 年の指数は、鶴岡地域が 99.3 藤島地域が 67.5、羽黒地域が 67.8、櫛引地域が 78.3、朝日地域が 37.2、温海地域が 41.9 となり、朝日地域、温海地域の減少が顕著となっている。(図 1,表 1)

図 1 人口の推移

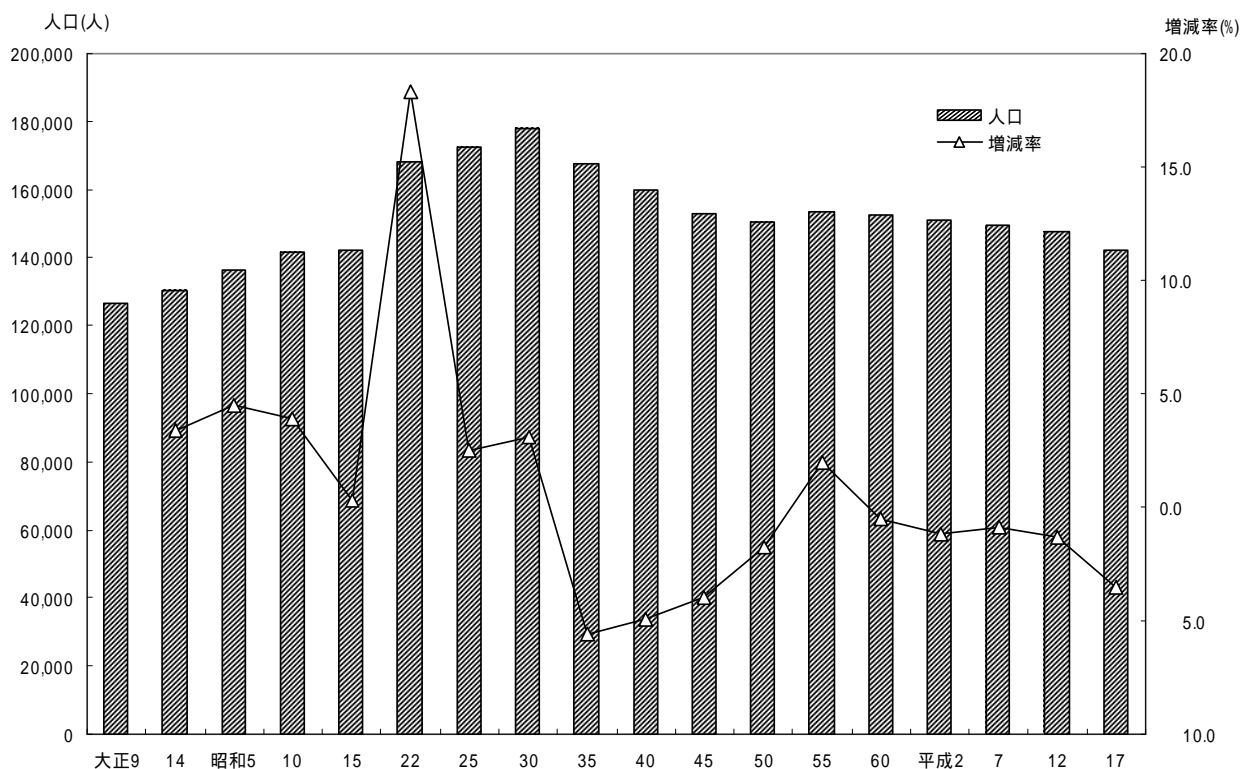


表1 人口の推移(大正9～平成17)

	市全域			鶴岡地域		藤島地域		羽黒地域		櫛引地域		朝日地域		温海地域	
	人口	増減率	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
大正9	126,228		20,584	68,912	11,921	13,985	2,052	10,498	1,583	8,119	1,217	10,336	1,609	14,378	2,202
14	130,465	3.4	21,393	72,054	12,572	14,359	2,164	11,142	1,653	8,464	1,268	9,612	1,392	14,834	2,344
昭和5	136,332	4.5	22,523	75,860	13,454	14,924	2,236	11,433	1,698	8,976	1,328	9,980	1,416	15,159	2,391
10	141,679	3.9	23,716	79,594	14,222	14,939	2,328	11,702	1,741	9,214	1,379	10,822	1,545	15,408	2,501
15	142,150	0.3	24,454	77,394	14,240	14,769	2,323	11,525	1,752	9,182	1,391	10,425	1,526	18,855	3,222
22	168,223	18.3	30,222	92,855	17,853	16,535	2,677	13,144	2,087	10,246	1,598	11,499	1,796	23,944	4,211
25	172,467	2.5	30,666	96,186	18,211	16,711	2,684	13,423	2,114	10,499	1,619	11,463	1,747	24,185	4,291
30	177,859	3.1	31,844	98,814	18,895	17,182	2,712	13,760	2,184	10,626	1,721	14,470	2,106	23,007	4,226
35	167,810	5.6	33,376	96,312	20,427	16,340	2,810	13,156	2,240	10,505	1,743	11,115	1,938	20,382	4,218
40	159,562	4.9	34,748	95,615	22,096	14,868	2,834	12,096	2,287	9,805	1,781	9,722	1,854	17,456	3,896
45	153,173	4.0	36,051	95,136	23,616	14,052	2,819	11,251	2,272	9,069	1,787	8,206	1,755	15,459	3,802
50	150,348	1.8	37,565	95,932	25,468	13,454	2,802	10,593	2,206	8,545	1,761	7,386	1,654	14,438	3,674
55	153,330	2.0	39,389	99,751	27,427	13,400	2,809	10,538	2,203	8,690	1,790	6,900	1,518	14,051	3,642
60	152,636	0.5	39,865	100,200	28,125	13,412	2,811	10,443	2,172	8,615	1,741	6,711	1,499	13,255	3,517
平成2	150,840	1.2	40,889	99,889	29,271	13,011	2,807	10,298	2,165	8,722	1,765	6,570	1,493	12,350	3,388
7	149,509	0.9	42,660	100,538	31,084	12,414	2,802	9,988	2,181	8,742	1,863	6,309	1,418	11,518	3,312
12	147,546	1.3	44,382	100,628	32,825	12,294	2,945	9,616	2,209	8,536	1,913	5,864	1,368	10,608	3,122
17	142,384	3.5	45,493	98,127	33,991	11,595	2,965	9,323	2,273	8,320	1,954	5,378	1,318	9,641	2,992

(2)人口の動態

山形県社会的移動人口調査(「山形県の人口と世帯数」)による人口動態をみると、平成12年10月から平成17年9月までの5年間の出生数は5,892人、死亡数は7,998人となり自然増減(出生数-死亡数)は、2,106人の減少となっている。また、同期間の転入数は16,722人、転出数は19,349人となり社会増減(転入数-転出数)は、2,627人の減少となっている。(表2)

表2 人口動態(平成12,10～平成17,9)

	鶴岡地域						藤島地域					
	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減
平成12,10～13,9	936	964	28	3,347	3,443	96	111	147	36	294	302	8
13,10～14,9	896	972	76	3,090	3,570	480	100	148	48	254	362	108
14,10～15,9	826	1,079	253	3,015	3,435	420	99	145	46	292	305	13
15,10～16,9	786	1,077	291	3,145	3,173	28	89	152	63	230	327	97
16,10～平成17,9	801	1,044	243	3,108	3,328	220	90	130	40	244	325	81

	羽黒地域						櫛引地域					
	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減
平成12,10～13,9	85	128	43	254	244	10	85	87	2	182	237	55
13,10～14,9	72	101	29	301	259	42	66	88	22	166	227	61
14,10～15,9	79	111	32	244	260	16	59	100	41	152	209	57
15,10～16,9	71	132	61	259	268	9	52	88	36	158	215	57
16,10～平成17,9	53	108	55	207	229	22	53	90	37	196	201	5

	朝日地域						温海地域					
	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減
平成12,10～13,9	33	59	26	88	144	56	78	131	53	187	316	129
13,10～14,9	39	81	42	75	136	61	63	123	60	224	315	91
14,10～15,9	24	73	49	100	146	46	56	166	110	171	303	132
15,10～16,9	41	73	32	65	149	84	73	144	71	169	252	83
16,10～平成17,9	27	86	59	85	131	46	49	171	122	195	313	118

	鶴岡市全域					
	出生数	死亡数	自然増減	転入	転出	社会増減
平成12,10～13,9	1,328	1,516	188	3,565	3,899	334
13,10～14,9	1,236	1,513	277	3,313	4,072	759
14,10～15,9	1,143	1,674	531	3,234	3,918	684
15,10～16,9	1,112	1,666	554	3,302	3,660	358
16,10～平成17,9	1,073	1,629	556	3,308	3,800	492
計	5,892	7,998	2,106	16,722	19,349	2,627

各地域の転入、転出には各地域間の移動も含む。
 鶴岡市全域は、各地域間の転入、転出をそれぞれ控除した。
 資料：「山形県の人口と世帯数」(山形県統計企画課)

なお、この期間の市内各地域間の人口移動をみてみると、鶴岡地域(478人)、羽黒地域(73人)が転入超過、藤島地域(38人)、櫛引地域(1人)、朝日地域(192人)、温海地域(320人)が転出超過となっている。

(表3)

表3 地域間移動クロス表(H12,10～H17,9)

転出先 ／ 転出前 の居住地	地域						計
	鶴岡 地域	藤島 地域	羽黒 地域	櫛引 地域	朝日 地域	温海 地域	
鶴岡地域	-	353	436	321	124	233	1,467
藤島地域	391	-	41	16	8	11	467
羽黒地域	392	29	-	28	5	14	468
櫛引地域	357	23	18	-	16	9	423
朝日地域	263	13	20	47	-	10	353
温海地域	542	11	26	10	8	-	597
計	1,945	429	541	422	161	277	-

(3)地域、地区別人口、世帯数

平成12年と17年の市内各地域別の人口を比較すると、6地域いずれの地域も減少している。

特に温海地域(9.1%)、朝日地域(8.3%)、藤島地域(5.7%)が高い減少率となり、市全域では3.5%の減少となっている。一方、世帯数は温海地域(4.2%)、朝日地域(3.7%)で減少、鶴岡地域(3.6%)、羽黒地域(2.9%)、櫛引地域(2.1%)などで増加している。市全域では2.5%増加している。(図2,表4)

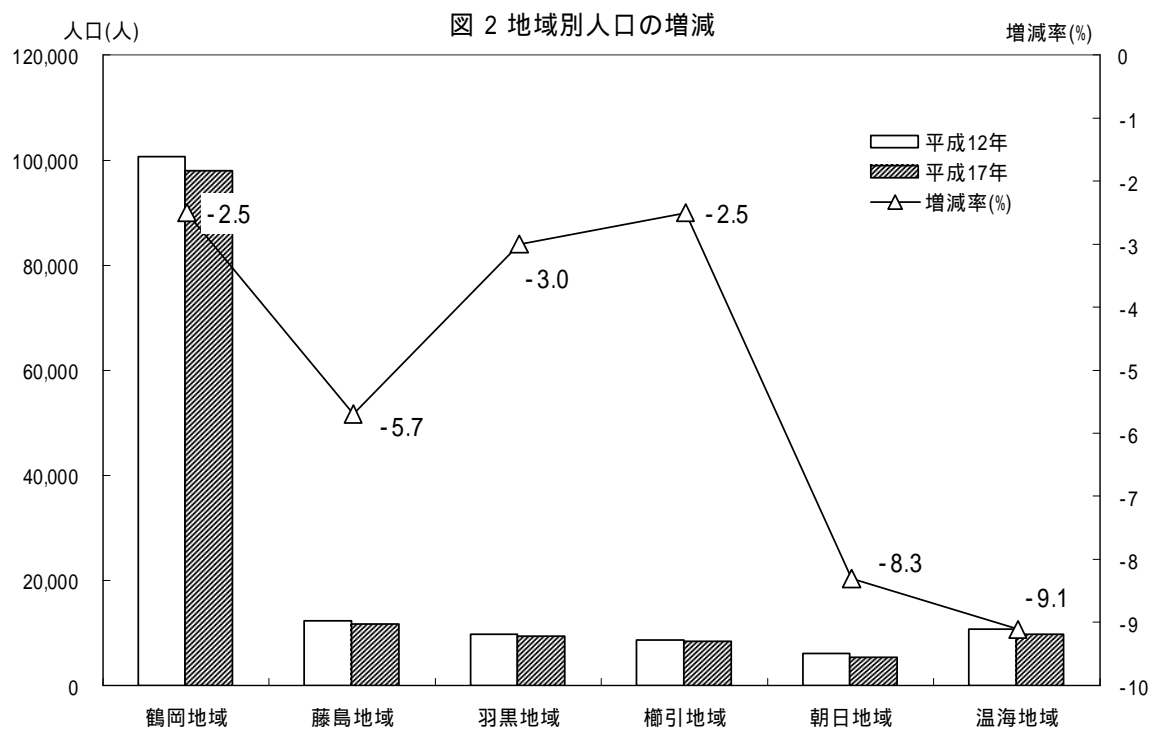


表4 地域別人口、世帯数

	人口			世帯数		
	平成12年	平成17年	増減率(%)	平成12年	平成17年	増減率(%)
鶴岡地域	100,628	98,127	2.5	32,825	33,991	3.6
藤島地域	12,294	11,595	5.7	2,945	2,965	0.7
羽黒地域	9,616	9,323	3.0	2,209	2,273	2.9
櫛引地域	8,536	8,320	2.5	1,913	1,954	2.1
朝日地域	5,864	5,378	8.3	1,368	1,318	3.7
温海地域	10,608	9,641	9.1	3,122	2,992	4.2
市全域	147,546	142,384	3.5	44,382	45,493	2.5

市内 41 地区のうち、平成 17 年の人口が平成 12 年より増加した地区は 6 地区であり、35 地区は減少している。最も増加率が高い地区は鶴岡地域の第 6 学区(4.4%)であるが、美咲町の住居表示実施により地区の変更があったことが影響している。その他では、第 3 学区(3.5%)、第 2 学区(1.5%)、齋地区(1.3%)、櫛引地域の山添地区(1.5%)、羽黒地域の広瀬地区(1.1%)が増加している。減少率の高い地区は、朝日地域の大鳥地区(20.3%)、大網地区(16.0%)、鶴岡地域の加茂地区(14.1%)などとなっている。

地区別の世帯数は、14 地区で増加し 26 地区で減少、1 地区が平成 12 年と同数となっている。増加率の高い地区は、鶴岡地域の齋地区(17.0%)、第 3 学区(11.8%)、広瀬地区(11.5%)など、逆に減少率の高い地区は大網地区(21.2%)、大鳥地区(11.3%)などとなっている。(表 5)

表5 地区別人口、世帯数の推移(平成12年、平成17年)

地区名	平成12年		平成17年		増減率(%)	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
*01 第 1 学区	10,591	3,616	10,444	3,765	1.4	4.1
02 第 2 学区	7,884	2,866	7,999	3,040	1.5	6.1
03 第 3 学区	13,440	5,213	13,917	5,827	3.5	11.8
04 第 4 学区	10,494	3,815	10,001	3,749	4.7	1.7
05 第 5 学区	10,061	3,817	9,172	3,734	8.8	2.2
*06 第 6 学区	11,546	4,126	12,052	4,453	4.4	7.9
*07 齋地区	2,153	540	2,182	632	1.3	17.0
08 黄金地区	2,680	522	2,576	533	3.9	2.1
09 湯田川地区	1,343	364	1,300	354	3.2	2.7
*10 大泉地区	4,512	1,040	4,113	1,017	8.8	2.2
11 京田地区	1,746	433	1,677	453	4.0	4.6
12 栄地区	1,154	248	1,075	248	6.8	0.0
13 田川地区	1,155	279	1,031	273	10.7	2.2
14 上郷地区	2,848	678	2,646	669	7.1	1.3
15 豊浦地区	4,363	1,185	4,019	1,198	7.9	1.1
16 加茂地区	1,728	520	1,485	494	14.1	5.0
17 湯野浜地区	1,670	534	1,589	518	4.9	3.0
18 大山地区	7,591	2,133	7,319	2,134	3.6	0.0
19 西郷地区	3,669	896	3,530	900	3.8	0.4
20 藤島地区	5,506	1,418	5,408	1,464	1.8	3.2
21 東栄地区	2,329	510	2,167	503	7.0	1.4
22 八栄島地区	1,128	255	1,011	253	10.4	0.8
23 長沼地区	1,417	337	1,282	334	9.5	0.9
24 渡前地区	1,914	425	1,727	411	9.8	3.3
25 泉地区	4,360	983	4,148	981	4.9	0.2
26 広瀬地区	3,446	765	3,483	853	1.1	11.5
27 手向地区	1,810	461	1,692	439	6.5	4.8
28 山添地区	5,134	1,192	5,210	1,243	1.5	4.3
29 黒川地区	3,402	721	3,110	711	8.6	1.4
30 大鳥地区	148	62	118	55	20.3	11.3
31 朝日大泉地区	819	185	725	175	11.5	5.4
32 大針地区	398	94	354	92	11.1	2.1
33 本郷地区	1,066	247	973	242	8.7	2.0
34 名川地区	1,002	247	981	261	2.1	5.7
35 熊出地区	780	170	746	164	4.4	3.5
36 大網地区	652	146	548	115	16.0	21.2
37 東岩本地区	999	217	933	214	6.6	1.4
38 第一地区	1,684	465	1,489	447	11.6	3.9
39 第二地区	4,533	1,468	4,106	1,385	9.4	5.7
40 第三地区	1,207	316	1,064	301	11.8	4.7
41 第四地区	3,184	873	2,982	859	6.3	1.6

*の地区は、住居表示の実施により平成12年と平成17年で区域が異なる。

(4)人口集中地区人口(DIDs)

人口集中地区は、都市的地域の特質を明らかにする統計上の地域単位として、昭和 35 年の国勢調査から設定され、昭和 40 年から平成 7 年までは鶴岡地域の市街地と大山地区の 2 地区設定され、平成 12 年以降は鶴岡地域の市街地のみ設定されている。

平成 17 年の人口集中地区は、人口 60,455 人、面積 13.8k m²、人口密度は 4,394 人/k m²となり、平成 12 年に比較すると面積は 0.4k m²増加しているものの、人口は 366 人、人口密度は 159 人減少している。

(表 5)

表5 人口集中地区人口、面積、人口密度

区分	人 口			面積 (km ²)	人口密度 (1km ² 当たり)	全 域 に 占 め る 人口集中地区の割合 (%)	
	総 数	男	女			人 口	面 積
昭和40年	45,687	21,201	24,486	5.0	9,137	28.6	0.4
45	51,734	24,063	27,671	7.3	7,087	33.8	0.6
50	53,445	25,111	28,334	8.0	6,681	35.6	0.6
55	58,193	27,555	30,638	10.6	5,490	38.0	0.8
60	57,699	27,154	30,545	11.1	5,198	37.8	0.9
平成 2年	61,498	28,998	32,500	12.1	5,082	40.8	0.9
7	64,354	30,469	33,885	13.7	4,697	43.0	1.1
12	60,821	29,011	31,810	13.4	4,553	41.2	1.0
17	60,455	28,675	31,780	13.8	4,394	42.5	1.1

平成12年以前の全域に占める人口集中地区の割合は市町村合併前の6市町村全域に対する数値です。

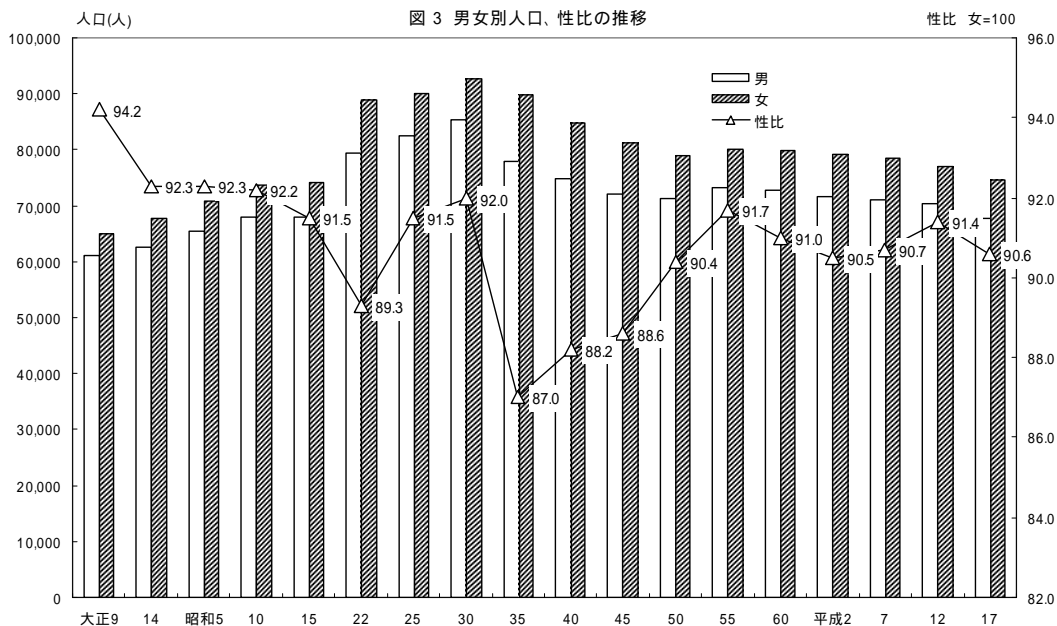
2 男女別・年齢別人口

(1)男女別人口

平成 17 年の人口を男女別に見てみると、男 67,676 人(総人口の 47.53%)、女 74,708 人(同 52.47%)となり、女が 7,032 人多くなっている。平成 12 年と比較した場合は、男は 2,781 人女は 2,381 人減少している。

性比(女 = 100 に対する男の割合)は、平成 17 年では 90.6 であり、山形県の 92.7 より低くなっている。

性比の推移をみてみると、昭和 22 年及び昭和 35 年から 45 年にかけて低い値となっている。これは、戦争によるものと高度経済成長期の人口流出によるものと考えられる。(図 3)

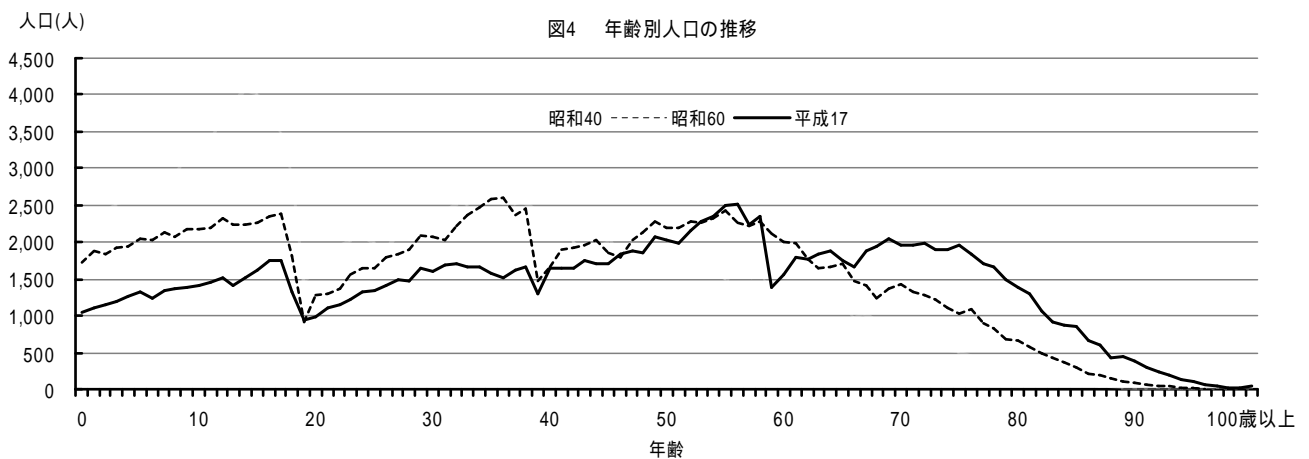


(2)年齢別人口

図4は、0歳から100歳以上まで各歳別の人口を昭和40年、60年、平成17年の20年ごとに比較したグラフである。昭和40年では各年齢層のうち最も人口の多い年齢は14歳(4,080人)であり、0歳から50歳までのうち最も人口の少ない年齢は19歳(1,467人)となっている。また、新生児である0歳の人口は2,382人となっている。75歳の人口は519人であり、98歳以上の者はいない。

これが20年後の昭和60年では14歳の人口は2,238人となり、昭和40年に14歳だった34歳の人口は2,466人に減少している。0歳から50歳のうちで最も人口の少ない年齢は昭和40年と同様に19歳(920人)であるが、昭和40年に比較し547人減少している。0歳児の人口は1,720人となり昭和40年に比べ662人減少している。75歳の人口は1,015人99歳以上の者はいない。

平成17年の各歳人口をみると、全年齢層を通して最も人口が多いのは56歳(2,507人)で、昭和60に36歳だった人口(2,598人)に近い。0歳児の人口はさらに減少し1,044人となり、逆に75歳人口は1,952人と昭和60年に比べ937人増加している。また、100歳以上の人口は33名となっている。



(3)年齢3区分人口、年齢構成指数

年齢が0～14歳の年少人口は、昭和40年45,033人だったものが平成17年では19,698人まで減少している。また、総人口に占める割合も28.2%から13.8%まで減少している。

15～64歳のいわゆる生産年齢人口は、昭和40年103,267人(総人口に占める割合64.7%)であり、その後、実数としては減少を続けるものの、総人口に占める割合は昭和50年～60年一旦増加するが、平成17年では60%を割っている。

65歳以上の老年人口は、実数総人口に占める割合ともに、昭和40年以降期間を通して一貫して増加している。昭和40年11,262人(総人口に占める割合7.1%)が、平成17年では37,630人(同26.4%)実数で約3.3倍に増加している。

75歳以上人口は平成17年では昭和40年の約6倍まで増加している。(表6)

表6 年齢3区分人口、年齢構成指数の推移(昭和40～平成17)

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年
年少人口(0～14歳) a	45,033	33,311	30,940	25,132	19,698
総人口に占める割合(%)	28.2	22.2	20.3	16.8	13.8
生産年齢人口(15～64歳) b	103,267	101,060	99,932	93,726	84,922
総人口に占める割合(%)	64.7	67.2	65.5	62.7	59.6
老年人口(65歳以上) c	11,262	15,932	21,763	30,647	37,630
総人口に占める割合(%)	7.1	10.6	14.3	20.5	26.4
(再掲)75歳以上人口	3,070	4,774	8,214	12,158	18,673
(再掲)85歳以上人口	310	583	1,211	2,550	4,482
年少人口指数 a/b	0.44	0.33	0.31	0.27	0.23
老年人口指数 c/b	0.11	0.16	0.22	0.33	0.44
従属人口指数 (a+c)/b	0.55	0.49	0.53	0.60	0.68

年齢3区分人口を市内各地域別にみた場合では、年少人口の地域総人口に占める割合が高い地域は鶴岡地域(14.1%)であり、最も低い地域は温海地域(11.9%)である。同様に生産年齢人口の割合が最も高い地域は鶴岡地域(60.8%)、低い地域は温海地域(55.2%)となっている。逆に、老年人口の割合が高い地域は温海地域(32.9%)、低い地域は鶴岡地域(25.0%)となっている。(表7)

表7 地域別年齢3区分人口、年齢構成指数(平成17)

	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域
年少人口(0～14歳) a	13,846	1,609	1,264	1,163	669	1,147
地域総人口に占める割合(%)	14.1	13.9	13.6	14.0	12.4	11.9
生産年齢人口(15～64歳) b	59,635	6,754	5,416	4,772	3,026	5,319
地域総人口に占める割合(%)	60.8	58.2	58.1	57.4	56.3	55.2
老年人口(65歳以上) c	24,512	3,232	2,643	2,385	1,683	3,175
地域総人口に占める割合(%)	25.0	27.9	28.3	28.7	31.3	32.9
(再掲)75歳以上人口	11,878	1,638	1,383	1,204	933	1,637
(再掲)85歳以上人口	2,890	366	336	296	225	369
年少人口指数 a/b	0.23	0.24	0.23	0.24	0.22	0.22
老年人口指数 c/b	0.41	0.48	0.49	0.50	0.56	0.60
従属人口指数 (a+c)/b	0.64	0.72	0.72	0.74	0.78	0.81

3 配偶関係

(1)配偶関係別人口

平成17年の15歳以上人口を配偶関係別にみると、男では未婚者は15,566人(男15歳以上人口の27.1%)、有配偶者は37,879人(同65.9%)、死別した者2,024人(同3.5%)、離別した者1,954人(同3.4%)となっている。一方、女では、未婚者は10,708人(女15歳以上人口の16.5%)、有配偶者は38,456人(同59.1%)、死別した者は12,707人(同19.5%)、離別した者は3,149人(同4.8%)となっている。なお、有配偶者の数が女の方が多くなっているのは、単身赴任など夫婦で別に居住していることなどが理由となる。また、女の方が平均寿命が長いことから、死別した者の数は女の方が高い値となっているものと思われる。

平成12年と比較した場合では、男の未婚者や男女ともに死別した者、離別した者の割合が高くなっている。(表8)

表8 配偶関係

	総数	男 Male					女 Female				
		総数 ¹⁾	未婚	有配偶	死別	離別	総数 ¹⁾	未婚	有配偶	死別	離別
平成12年	125,031	58,902	15,657	39,617	1,987	1,571	66,129	10,911	39,972	12,508	2,643
割合(%)		100.0	26.6	67.3	3.4	2.7	100.0	16.5	60.4	18.9	4.0
平成17年	122,552	57,487	15,566	37,879	2,024	1,954	65,065	10,708	38,456	12,707	3,149
割合(%)		100.0	27.1	65.9	3.5	3.4	100.0	16.5	59.1	19.5	4.8

1)配偶不詳含む。

(2)年齢別配偶関係

表9は20～49歳の各5歳階級人口に占める有配偶者の割合の推移を表わしたものである。

全般的に減少の傾向にあるが、特に男では35～39歳、45～49歳、女では25～29歳、30～34歳の階級が平成2年から平成17年の間で15ポイント以上減少している。

表9 20～49歳年齢別有配偶率(男)

20～49歳年齢別有配偶率(女)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
20～24歳	5.9	8.9	10.9	9.8	20～24歳	15.7	16.3	17.3	14.8
25～29	39.4	37.9	35.4	34.6	25～29	65.5	58.5	50.4	48.5
30～34	67.8	63.7	57.6	55.6	30～34	88.2	82.0	75.1	68.4
35～39	79.1	74.7	70.5	63.9	35～39	90.4	89.0	84.1	77.7
40～44	85.8	79.5	76.5	71.7	40～44	88.3	89.2	87.3	82.2
45～49	91.4	85.0	79.2	75.5	45～49	87.5	87.0	87.4	84.4

図 5,6 は 15 歳以上の各 5 歳階級人口に占める未婚者の割合をあらわしたものである。平成 2 年から平成 17 年までの推移を各線で表示してある。

男では 30～34 歳の階級から 55～59 歳の階級まで、未婚者の割合が増加している。

女では 25～30 歳の階級から 40～44 歳の階級で、未婚者の割合が増加している。(表 10)

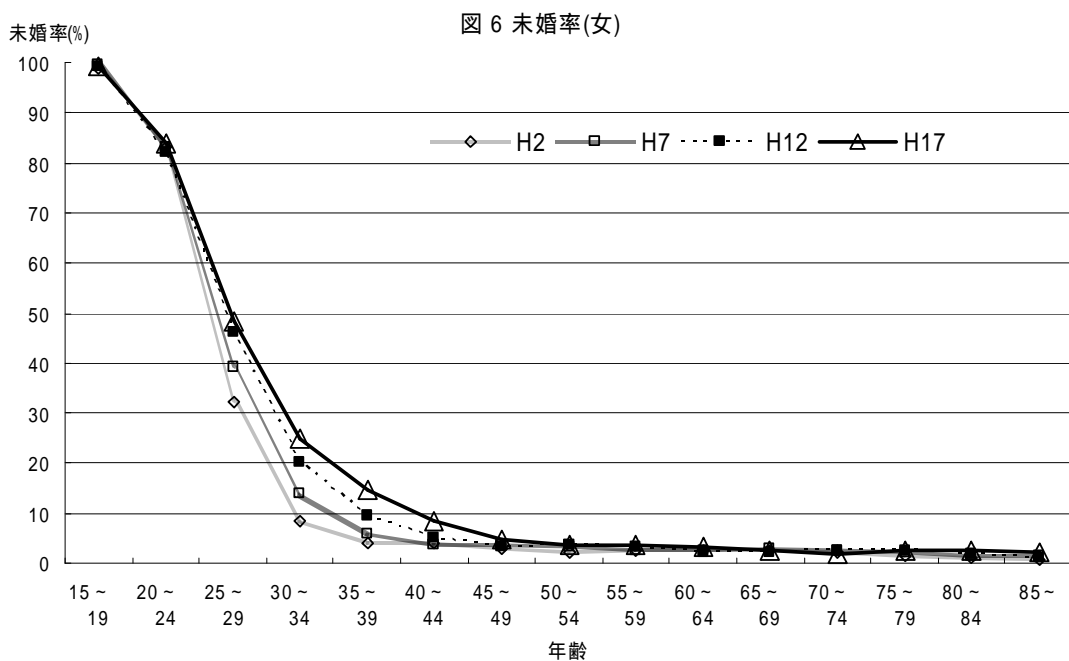
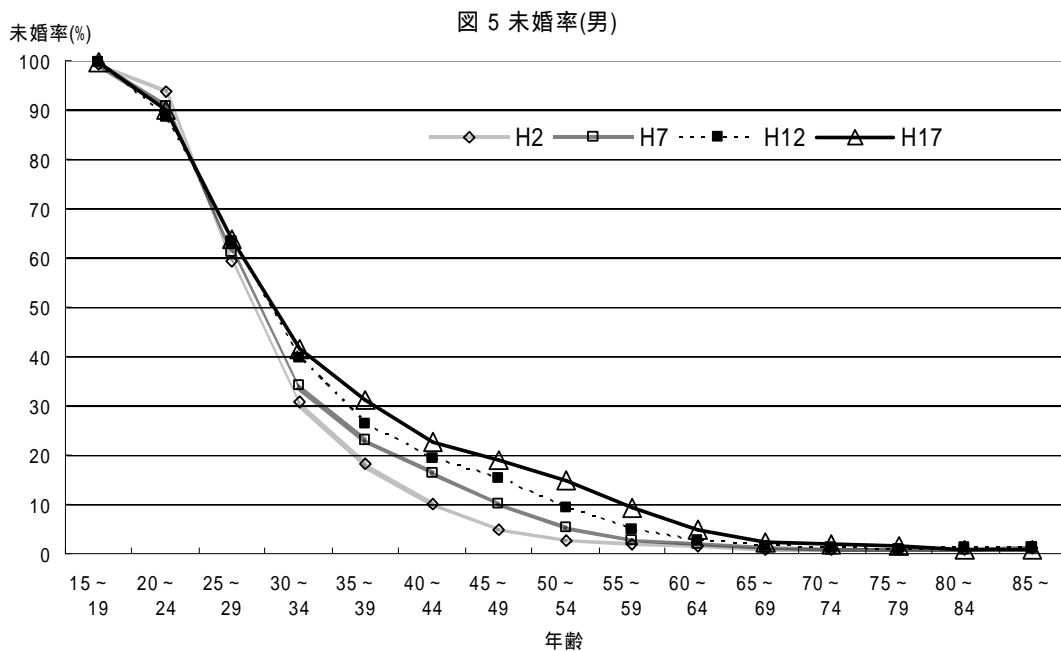


表 10 20～49歳年齢別未婚率(男)

20～49歳年齢別未婚率(女)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
20～24歳	93.7	90.9	88.5	89.9	20～24歳	83.0	83.0	82.0	83.9
25～29	59.3	61.0	63.5	63.8	25～29	32.4	39.2	46.1	48.3
30～34	30.9	33.9	39.5	41.3	30～34	8.6	13.9	20.3	24.8
35～39	18.0	23.1	26.2	31.1	35～39	4.2	5.7	9.6	14.6
40～44	10.1	16.2	19.4	22.7	40～44	4.0	3.5	5.0	8.4
45～49	5.0	10.0	15.2	18.8	45～49	3.1	3.7	3.4	4.9

表 11 は 20～49 歳の各 5 歳階級人口に占める配偶者と離別した者の割合をあらわしたものである。

全般的には、女の方が男より高い値となっている。また、平成 2 年から平成 17 年までの推移をみると、男では 35～39 歳(2 ポイント)、45～49 歳(2.1 ポイント)の階級が増加している。女では 30～34 歳(3.7 ポイント)、35～39 歳(2.7 ポイント)、40～44 歳(2.5 ポイント)、45～49 歳(3 ポイント)の階級が増加の傾向にある。

	20～49歳年齢別離別率(男)				20～49歳年齢別離別率(女)				
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	
20～24歳	0.2	0.1	0.5	0.3	20～24歳	0.8	0.6	0.7	1.2
25～29	1.0	0.8	1.1	1.6	25～29	2.0	2.2	3.4	3.1
30～34	1.2	2.2	2.7	3.1	30～34	2.9	3.8	4.3	6.6
35～39	2.6	2.1	2.8	4.6	35～39	4.4	4.7	5.6	7.1
40～44	3.5	4.0	3.6	5.0	40～44	5.6	5.8	6.2	8.1
45～49	2.9	4.3	5.0	5.0	45～49	4.9	6.1	6.7	7.9

4 世帯

(1)世帯数

平成 17 年の本市の総世帯数は 45,493 世帯(世帯の種類不詳を含む)であり、そのうち一般世帯は 45,289 世帯、その世帯人員は 139,667 人で 1 世帯当たり人員は 3.1 人となっている。

一般世帯の世帯数を地域別に平成 2 年からの推移をみると、鶴岡地域、藤島地域、羽黒地域、櫛引地域で増加しており、朝日地域、温海地域で減少の傾向となっている。また、世帯人員はいずれの地域でもほぼ減少の傾向を示すことから、1 世帯当たりの世帯人員数は減少している。市全体では平成 2 年 3.6 人/世帯が平成 17 年では 0.5 人減少している。

施設等の世帯は 74 世帯、世帯人員 2,583 人となっている。老人介護施設等の新設により平成 12 年より世帯数で 11、世帯人員で 390 人増えている。(表 12)

表 12 地域別世帯数、世帯人員の推移

区分		一般世帯			施設等の世帯	
		世帯数	世帯人員	1世帯当たり人員	世帯数	世帯人員
鶴岡地域	平成 2 年	29,226	98,101	3.4	38	1,780
	7 年	31,014	98,756	3.2	70	1,782
	12年	32,726	98,622	3.0	56	1,937
	17年	33,805	95,946	2.8	56	2,047
藤島地域	平成 2 年	2,806	12,940	4.6	1	71
	7 年	2,801	12,410	4.4	-	-
	12年	2,944	12,245	4.2	1	49
	17年	2,964	11,545	3.9	1	50
羽黒地域	平成 2 年	2,161	10,167	4.7	4	131
	7 年	2,177	9,908	4.6	4	80
	12年	2,206	9,558	4.3	3	58
	17年	2,267	9,158	4.0	6	165
櫛引地域	平成 2 年	1,764	8,671	4.9	1	51
	7 年	1,862	8,692	4.7	1	50
	12年	1,912	8,486	4.4	1	50
	17年	1,949	8,138	4.2	5	182
朝日地域	平成 2 年	1,493	6,570	4.4	-	-
	7 年	1,417	6,259	4.4	1	50
	12年	1,367	5,815	4.3	1	49
	17年	1,316	5,318	4.0	2	60
温海地域	平成 2 年	3,388	12,350	3.6	-	-
	7 年	3,310	11,516	3.5	2	2
	12年	3,121	10,558	3.4	1	50
	17年	2,988	9,562	3.2	4	79
市全域	平成 2 年	40,838	148,799	3.6	44	2,033
	7 年	42,581	147,541	3.5	78	1,964
	12年	44,276	145,284	3.3	63	2,193
	17年	45,289	139,667	3.1	74	2,583
市全域 増減数	平成 7 年	1,743	1,258	0.1	34	69
	12年	1,695	2,257	0.2	15	229
	17年	1,013	5,617	0.2	11	390
市全域 増減率(%)	平成 7 年	4.3	0.8	-	77.3	3.4
	12年	4.0	1.5	-	19.2	11.7
	17年	2.3	3.9	-	17.5	17.8

世帯種類不詳は含まない。

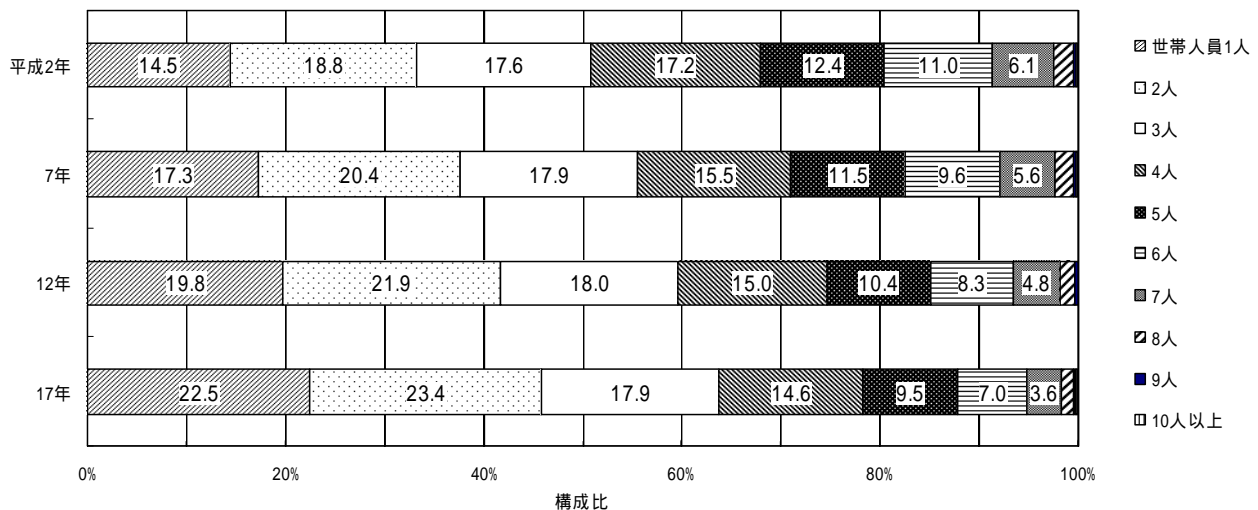
(2)世帯人員別

一般世帯を世帯人員別にみても、1人世帯は10,210世帯(一般世帯総数のうち22.5%)で、平成12年に比べ16.7%増加し、増加率では最も高くなっている。2人世帯は10,612世帯(同23.4%)で最も多い。3人世帯は8,099世帯(同17.9%)であり、1人世帯から3人世帯だけで一般世帯総数の63.8%を占める。以下4人以上世帯は10人以上を除き、実数及び構成比で平成12年より減少している。(表13,図7)

表13 世帯人員別一般世帯数

区分	総数 Total	世帯人員が 1人 Household member	2	3	4	5	6	7	8	9	10人以上 or more
平成2年	40,838	5,927	7,687	7,172	7,004	5,065	4,486	2,485	823	155	34
7年	42,581	7,346	8,685	7,620	6,610	4,891	4,109	2,369	758	167	26
増減率(%)	4.3	23.9	13.0	6.2	5.6	3.4	8.4	4.7	7.9	7.7	23.5
12年	44,276	8,746	9,692	7,969	6,654	4,612	3,660	2,124	650	149	20
増減率(%)	4.0	19.1	11.6	4.6	0.7	5.7	10.9	10.3	14.2	10.8	23.1
17年	45,289	10,210	10,612	8,099	6,594	4,286	3,178	1,618	532	127	33
増減率(%)	2.3	16.7	9.5	1.6	0.9	7.1	13.2	23.8	18.2	14.8	65.0

図7 人員別世帯構成比の推移



(3)家族類型別

一般世帯を家族類型別にみても、「親族世帯」は34,984世帯で、そのうち「核家族世帯」は20,464世帯、さらに「核家族世帯」のうち「夫婦のみの世帯」7,272世帯、「夫婦と子供から成る世帯」9,283世帯、「男親と子供から成る世帯」460世帯、「女親と子供から成る世帯」3,449世帯となっている。「その他の親族世帯」は14,520世帯、「非親族の世帯」は95世帯、「単独世帯」は10,210世帯となっている。各家族類型の世帯数を平成12年と比較すると、「夫婦と子供から成る世帯」(対平成12年比3.0%)と3世代同居などの「その他の親族世帯」(同7.7%)が減少し、「男親と子供から成る世帯」(同13.6%)「女親と子供から成る世帯」(同15.8%)、「単独世帯」(同16.7%)で増加が顕著となっている。

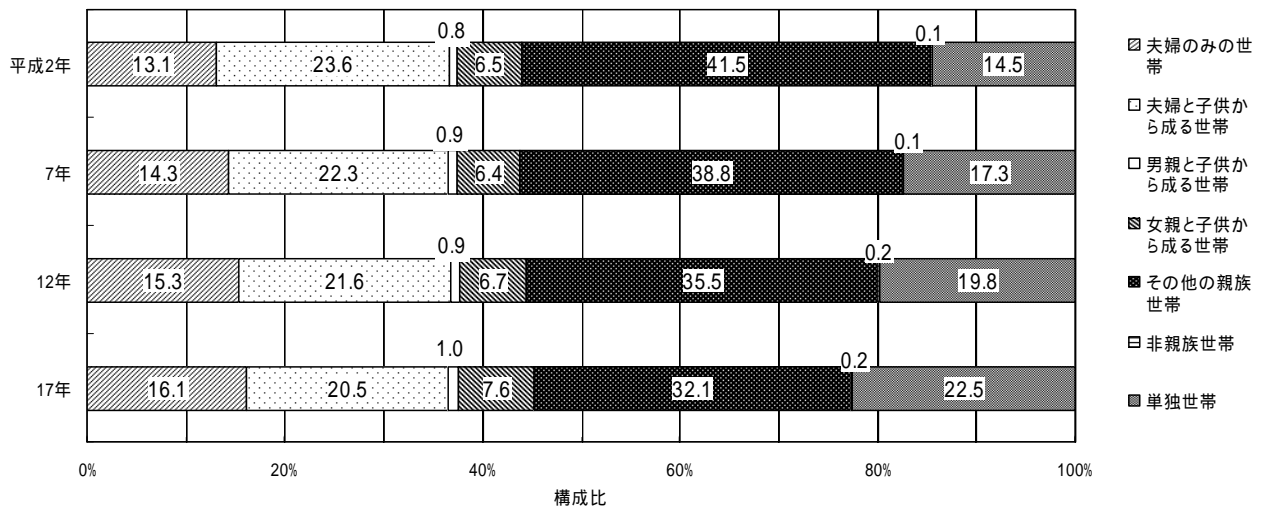
なお、平成2年から平成17年まで、各家族類型別の世帯数構成比を比較してみると「夫婦のみの世帯」「女親と子供から成る世帯」「単独世帯」が増加の傾向にあり、「夫婦と子供から成る世帯」「その他の親族世帯」が減少の傾向にある。

(表14,図8)

表 14 家族類型別世帯数の推移

区分	総数	A親族世帯	核家族世帯	(1)夫婦のみの世帯	(2)夫婦と子供から成る世帯	(3)男親と子供から成る世帯	(4)女親と子供から成る世帯	その他の親族世帯	B非親族世帯	C単独世帯	(再掲)母子世帯	(再掲)父子世帯
平成2年	40,838	34,887	17,957	5,347	9,619	335	2,656	16,930	24	5,927	517	49
7年	42,581	35,193	18,679	6,076	9,499	380	2,724	16,514	42	7,346	489	57
増減率(%)	4.3	0.9	4.0	13.6	1.2	13.4	2.6	2.5	75.0	23.9	5.4	16.3
12年	44,276	35,441	19,712	6,753	9,575	405	2,979	15,729	89	8,746	536	52
増減率(%)	4.0	0.7	5.5	11.1	0.8	6.6	9.4	4.8	111.9	19.1	9.6	8.8
17年	45,289	34,984	20,464	7,272	9,283	460	3,449	14,520	95	10,210	610	59
増減率(%)	2.3	1.3	3.8	7.7	3.0	13.6	15.8	7.7	6.7	16.7	13.8	13.5

図 8 家族類型別世帯数構成比の推移



(4)高齢者世帯

平成 17 年の 65 歳以上の親族のいる一般世帯は、平成 12 年に比べ総数で 1,374 世帯増えている。しかし、3 世代世帯など「その他の親族世帯」は 781 世帯減少している。

同様に 75 歳以上の親族、85 歳以上の親族のいる世帯は総数では増加しているが、「その他の親族世帯」はそれぞれ 528 世帯、191 世帯増加している。

高齢者のみの単独世帯は、65 歳以上(827 世帯増)、75 歳以上(735 世帯増)、85 歳以上(210 世帯)いずれも増加している。(表 15)

表 15 家族類型別高齢者(65歳以上、75歳以上、85歳以上)の親族のいる世帯

区分	年	総数	A親族世帯	核家族世帯	(1)夫婦のみの世帯	(2)夫婦と子供から成る世帯	(3)男親と子供から成る世帯	(4)女親と子供から成る世帯	その他の親族世帯	B非親族世帯	C単独世帯	(再掲)
												3世代世帯
65歳以上親族のいる一般世帯	平成12年	23,504	20,571	7,031	3,605	1,830	203	1,393	13,540	10	2,923	11,212
	17年	24,878	21,113	8,354	4,207	2,095	262	1,790	12,759	15	3,750	10,218
世帯人員	平成12年	88,968	86,025	16,199	7,210	5,673	421	2,895	69,826	20	2,923	62,127
	17年	87,088	83,307	19,234	8,416	6,537	550	3,731	64,073	31	3,750	55,721
65歳以上親族人員	平成12年	33,878	30,945	10,948	6,230	3,057	203	1,458	19,997	10	2,923	16,498
	17年	36,178	32,413	13,286	7,515	3,628	262	1,881	19,127	15	3,750	15,301
(再掲)75歳以上親族のいる世帯	平成12年	11,895	10,528	2,531	1,131	512	109	779	7,997	6	1,361	6,310
	17年	14,254	12,152	3,627	1,663	719	150	1,095	8,525	6	2,096	6,522
世帯人員	平成12年	47,167	45,794	5,687	2,262	1,581	224	1,620	40,107	12	1,361	34,597
	17年	51,978	49,870	8,134	3,328	2,214	313	2,279	41,736	12	2,096	35,205
75歳以上親族人員	平成12年	14,034	12,667	3,241	1,622	727	109	783	9,426	6	1,361	7,452
	17年	17,479	15,377	4,885	2,545	1,089	150	1,101	10,492	6	2,096	8,034
(再掲)85歳以上親族のいる世帯	平成12年	3,096	2,870	421	130	63	35	193	2,449	2	224	1,815
	17年	3,705	3,269	629	179	88	47	315	2,640	2	434	1,939
世帯人員	平成12年	13,550	13,322	930	260	199	71	400	12,392	4	224	10,358
	17年	14,837	14,399	1,387	358	272	100	657	13,012	4	434	10,782
85歳以上親族人員	平成12年	3,210	2,984	445	144	73	35	193	2,539	2	224	1,888
	17年	3,884	3,448	685	214	109	47	315	2,763	2	434	2,030

表 17 は夫又は妻が 65 歳以上の高齢夫婦世帯を夫、妻の年齢ごとにクロス集計したものである。この集計を整理したものが表 16 である。

平成 17 年と平成 12 年を比較すると、「夫又は妻が 65 歳以上」の世帯は 600 世帯増加している。ほか、「夫婦ともに 65 歳以上」の世帯は 681 世帯、「夫又は妻が 75 歳以上」の世帯は 530 世帯、「夫婦ともに 75 歳以上」の世帯は 390 世帯、「夫又は妻が 85 歳以上」の世帯は 49 世帯、「夫婦ともに 85 歳以上」の世帯は 21 世帯増加している。

表 16 高齢夫婦世帯

年、区分	夫又は妻が 65歳以上	夫婦ともに 65歳以上	夫又は妻が 75歳以上	夫婦ともに 75歳以上	夫又は妻が 85歳以上	夫婦ともに 85歳以上
平成12年	3,605	2,625	1,131	491	130	14
平成17年	4,205	3,306	1,661	881	179	35

表 17 夫、妻の年齢別高齢夫婦世帯

年、年齢階級	総数 Total	妻が 60歳未満	60～64歳 years old	65～69	70～74	75～79	80～84	85歳以上 and over
平成12年 総数 Total	3,605	142	766	1,188	966	406	120	17
夫が 60歳未満	10	-	-	4	5	1	-	-
60～64歳	62	-	-	54	6	2	-	-
65～69	1,300	120	634	475	62	7	2	-
70～74	1,154	15	117	556	426	36	4	-
75～79	646	5	9	84	375	164	8	1
80～84	306	1	5	12	79	164	43	2
85歳以上	127	1	1	3	13	32	63	14
平成17年 総数 Total	4,205	112	718	1,351	1,066	708	204	46
夫が 60歳未満	15	-	-	11	4	-	-	-
60～64歳	54	-	-	42	6	5	-	1
65～69	1,234	91	586	497	52	7	1	-
70～74	1,318	18	117	671	449	55	8	-
75～79	978	2	13	120	474	345	21	3
80～84	438	1	1	8	72	258	91	7
85歳以上	168	-	1	2	9	38	83	35

65 歳以上の高齢単身世帯数を平成 12 年と平成 17 年で比較すると、65～69 歳では減少(29 世帯)しているものの、70～74 歳(121 世帯増)、75～79 歳(248 世帯増)、80～84 歳(277 世帯増)、85 歳以上(210 世帯増)の各年齢階級で増加している。(表 18)

表 18 高齢単身世帯数

区分	年	総数	65～69	70～74	75～79	80～84	85	(別掲)
								60
総数	平成12年	2,923	762	800	709	428	224	3,537
	17年	3,750	733	921	957	705	434	4,412
男	平成12年	587	186	150	106	93	52	786
	17年	824	220	215	178	118	93	1,077
女	平成12年	2,336	576	650	603	335	172	2,751
	17年	2,926	513	706	779	587	341	3,335

5 住宅

(1)住宅の所有の関係

平成 17 年の住宅に住む一般世帯は、44,587 世帯であり平成 12 年に比べ 775 世帯増えている。これらを住宅の所有の関係別にみると、「持ち家」は 35,759 世帯(一般世帯総数を 100 として 79.0%)、「公営・公団・公社の借家」は 1,110 世帯(同 2.5%)、「民間の借家」6,465 世帯(同 14.3%)、社宅等の「給与住宅」は 1,003 世帯(同 2.2%)、主世帯に間借りしている世帯は 250 世帯(同 0.6%)、住宅以外に住む一般世帯は 702 世帯(同 1.6%)となっている。

平成 12 年と比較すると「持ち家」が 291 世帯(対平成 12 年 0.8%)、「民間の借家」が 574 世帯(同 9.7%)増加している。(表 19)

表 19 地域、住宅の所有の関係別世帯数

区分	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域	市全域	構成比(%)
平成12年世帯数								
一般世帯	32,726	2,944	2,206	1,912	1,367	3,121	44,276	100.0
住宅に住む一般世帯	32,344	2,943	2,198	1,911	1,353	3,063	43,812	99.0
主世帯	32,117	2,938	2,193	1,901	1,350	3,050	43,549	98.4
持ち家	24,474	2,845	2,142	1,878	1,319	2,810	35,468	80.1
公営・公団・公社の借家	1,005	41	24	-	20	102	1,192	2.7
民間の借家	5,713	47	19	19	4	89	5,891	13.3
給与住宅	925	5	8	4	7	49	998	2.3
間借り	227	5	5	10	3	13	263	0.6
住宅以外に住む一般世帯	382	1	8	1	14	58	464	1.0
平成17年世帯数								
一般世帯	33,805	2,964	2,267	1,949	1,316	2,988	45,289	100.0
住宅に住む一般世帯	33,192	2,964	2,258	1,942	1,316	2,915	44,587	98.4
主世帯	32,981	2,956	2,244	1,940	1,310	2,906	44,337	97.9
持ち家	24,896	2,835	2,182	1,901	1,266	2,679	35,759	79.0
公営・公団・公社の借家	923	39	23	-	24	101	1,110	2.5
民間の借家	6,239	77	29	23	13	84	6,465	14.3
給与住宅	923	5	10	16	7	42	1,003	2.2
間借り	211	8	14	2	6	9	250	0.6
住宅以外に住む一般世帯	613	-	9	7	-	73	702	1.6

(2)住宅の建て方

住宅の建て方別の世帯数と世帯人員をみると、「一戸建」に住む一般世帯は 38,091 世帯 128,092 人、テラスハウス等の「長屋建」に住む一般世帯は 695 世帯 1,313 人、「共同住宅」に住む一般世帯は 5,772 世帯 9,406 人となっている。

平成 12 年と比べると「一戸建」に住む世帯数は 179 世帯増えているが、世帯人員は 6,584 人減っている。そのため 1 世帯当たりの人員も 3.55 人から 3.36 人に減少している。また、共同住宅では高層マンションの新設により 11 階以上の階層に住む世帯も出現した。(表 20)

表 20 住宅の建て方別世帯数、世帯人員

年、区分	総数	一戸建	長屋建	共同住宅									その他	
				総数	建物全体の階数				(再掲)世帯が住んでいる階					
					1・2階建	3～5	6～10	11階建以上	1・2階	3～5	6～10	11階以上		
平成12年														
住宅に住む一般世帯数	43,812	37,912	574	5,264	3,669	1,541	54	-	4,525	727	12	-	62	
住宅に住む一般世帯人員	144,740	134,676	1,070	8,819	5,172	3,544	103	-	7,045	1,750	24	-	175	
平成17年														
住宅に住む一般世帯数	44,587	38,091	695	5,772	3,950	1,653	92	77	4,878	817	65	12	29	
住宅に住む一般世帯人員	138,894	128,092	1,313	9,406	5,698	3,402	167	139	7,529	1,740	121	16	83	

(3) 1 世帯当たり及び 1 人当たり延べ面積

住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、市全域では 140.9 m²である。地域別では櫛引地域が最も高く、鶴岡地域が最も低くなっている。(表 21)

1 人当たりの延べ面積は市全域で 45.2 m²であり、1 世帯当たりの人員が減少していることから平成

12年に比べ2.3㎡増えている。(表22)

表21 地域、住宅の所有の関係別1世帯当たり延べ面積

区分	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域	市全域
平成12年1世帯当たり延べ面積(㎡)							
住宅に住む一般世帯	128.2	178.6	184.7	194.4	197.2	158.7	141.7
主世帯	128.8	178.7	184.9	194.9	197.6	159.1	142.1
持ち家	152.6	181.8	187.2	196.4	200.2	167.2	162.3
公営・公団・公社の借家	57.2	78.6	70.6	-	65.0	52.8	58.0
民営の借家	49.7	90.0	113.5	80.0	122.1	67.8	50.7
給与住宅	64.7	82.9	84.0	51.6	136.0	85.9	66.4
間借り	55.5	79.0	91.5	93.9	33.2	52.4	57.7
平成17年1世帯当たり延べ面積(㎡)							
住宅に住む一般世帯	127.5	179.2	183.7	197.6	192.5	160.6	140.9
主世帯	128.0	179.6	184.5	197.8	193.2	161.0	141.4
持ち家	152.8	183.4	187.2	199.3	197.4	168.6	162.7
公営・公団・公社の借家	58.2	74.2	70.5	-	67.1	54.5	58.9
民営の借家	49.0	95.3	89.1	84.9	103.6	80.7	50.4
給与住宅	63.3	177.5	137.3	176.2	42.6	94.2	67.6
間借り	45.5	9.9	46.6	30.8	35.2	53.4	44.2

表22 地域、住宅の所有の関係別1人当たり延べ面積

区分	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域	市全域
平成12年1人当たり延べ面積(㎡)							
住宅に住む一般世帯	42.3	42.9	42.5	43.8	46.0	46.3	42.9
主世帯	42.3	42.9	42.5	43.8	46.0	46.3	42.9
持ち家	45.0	43.1	42.7	43.8	46.2	47.2	44.8
公営・公団・公社の借家	23.1	31.3	25.3	-	24.1	24.6	23.6
民営の借家	27.6	35.0	36.0	39.0	44.4	32.6	27.9
給与住宅	30.8	31.9	29.2	25.8	47.6	34.2	31.1
間借り	30.5	43.9	30.5	37.6	19.9	37.8	31.3
平成17年1人当たり延べ面積(㎡)							
住宅に住む一般世帯	44.4	46.0	45.3	47.2	47.6	49.5	45.2
主世帯	44.5	46.0	45.5	47.2	47.7	49.5	45.3
持ち家	47.8	46.3	45.7	47.3	47.9	50.2	47.7
公営・公団・公社の借家	25.2	28.7	24.9	-	29.8	27.0	25.6
民営の借家	27.2	38.8	39.7	33.7	53.9	43.2	27.8
給与住宅	31.7	111.0	45.8	53.2	27.1	45.0	33.3
間借り	22.9	9.9	14.8	8.8	17.6	26.7	21.8

6 外国人

本市に居住する外国人は、平成17年では762人(国籍不詳含む)で、平成12年に比べ291人(61.8%)増加している。男女別では男142人(3人増)、女620人(288人増)で、女の増加が際立っている。

国籍別では、中国512人、韓国・朝鮮86人、フィリピン41人の順となり、中国は平成12年に比べ241人増えている。(表23,24)

表23 国籍別外国人(平成17年)

区分	総数	韓国、朝鮮	中国	フィリピン	タイ	インドネシア	ベトナム	イギリス	アメリカ	ブラジル	ペルー	その他
	Total	Korea	China	Philippines	Thailand	Indonesia	Viet Nam	U.K.	U.S.A.	Brazil	Peru	Others 1)
平成17年												
総数	762	86	512	41	5	5	26	3	15	26	5	38
男	142	18	58	2	-	2	1	3	13	16	3	26
女	620	68	454	39	5	3	25	-	2	10	2	12

1)国籍不詳含む。

表24 国籍別外国人(平成12年)

区分	総数	韓国、朝鮮	中国	東南アジア、南アジア			イギリス	アメリカ	ブラジル	ペルー	その他	
				総数	フィリピン	タイ						その他
	Total 1)	Korea	China	Total	Philippines	Thailand	Others	U.K.	U.S.A.	Brazil	Peru	Others
平成12年												
総数	471	51	271	87	42	3	42	5	9	38	1	8
男	139	19	56	31	2	2	27	3	6	21	1	2
女	332	32	215	56	40	1	15	2	3	17	-	6

1)国籍不詳を含む。